

# 一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、22人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。  
(一)内には、各党派等からの質問申し出時間を記載していません。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	7人	215分
誠友会	3人	195分
市民連合	2人	150分
日本共産党	2人	130分
新政クラブ	1人	80分
無所属	1人	30分

\*一般質問の録画放送をインターネットで見ることができます。(詳細は下段)



連石 武則  
水曜会 (60分)

## ICTインフラの整備は

**問** ICTインフラの活用による地域づくりを進めるため、国は支援制度を充実させている。新たな生活様式の確立には光ファイバの整備が欠かせないと考えるが、本市の状況と今後の方向性は。

**答** 光ファイバは熊野町などの

8地域以外で、民間事業者により整備されている。光ファイバによる高速通信環境の整備は、新しい生活様式を取り入れた暮らしの実現のために不可欠であり、さらに高速通信環境は、防災、産業活動、観光振興、医療等さまざまな分野に活用できるもので、地域が抱える課題を解決していくための基盤になると考える。

光ファイバの未整備地域については、整備実現に向けて国の高度無線環境整備推進事業も活用しつつ、民間事業者を支援し、着実に取り組みを進める。



石口 智志  
水曜会 (60分)

## ダムの事前放流は

**問** 国はダムの事前放流のルールを設定し、この梅雨時期からの運用を示した。芦田川水系の多目的ダムは治水、利水の役割を担うが、今後の運用は。また、農業用ため池も事前に水位を下げておく必要があるかと思うが、考えは。

**答** ダム上流の予測雨量がダムごとの基準降雨量以上であることを基本に大雨が予測される3日前から放流することになっており、国はできる限り利水に影響がないよう対応することとしている。

本市としては、市民生活の安心・安全の確保を第一に、国、県はじめ関係利水者と連携して情報共有や水運用に取り組んでいく。農業用ため池も下流の安全のためには低水位管理が必要と考える。今年度は管理者が確認されている約1200カ所のため池についても新たに低水位管理をお願いした。



喜田 紘平  
水曜会 (70分)

## 新型コロナウイルス感染症による影響は

**問** ①経済への影響と対策は。②子どもの虐待への影響は。③児童生徒の学力補充は。④今後の教育の在り方は。

**答** ①さまざまな業種に影響が広がり、長期にわたる切れ目のない対応が必要と考える。感染拡大

防止と社会経済活動再開の両立を図るため支援策の検討を重ね、積極的な情報提供に努めている。  
②生活環境の変化による児童虐待の増加や発見の遅れが懸念される。支援の必要性が高い子どもをきめ細かく見守る体制を強化する。  
③学力補充日、自由登校日等の設定、学習塾との連携等、選択できる学習機会の提供を検討している。  
④従来の学校の価値観や体制の違い直しを求め取り組んでおり、社会とともに学校の姿も変わると考える。未来を切り開いていけるよう、子ども主体の学びを追求する。

\* 6月定例会の一般質問の録画放送を見る場合

福山市のホームページ → 福山市議会 → 議会中継 → ここからご覧ください。